

北海道議會時報

第33卷第4号



北海道議會事務局

北海道議會時報第33卷第4号(昭和56年)

(表紙写真説明)

シ ク ラ メ ン

サクラソウ科の多年草で地下に塊茎を有する球根植物。植物分類学上は属の名称で、野生種の改良品種が一般的にシクラメンと呼ばれている。

委員会の動き

議会運営委員会	1
常任委員会	3
特別委員会	16
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
公害対策特別委員会	

会 合

全国都道府県議会議長会	19
都道府県議会議員共済会	19
10都道府県議会議長会	19
北海道・東北6県議会議長会	20

4月・5月・6月のメモ

議 会 日 誌

▶ 4 月

- 6 日 (月) 厚生委員会
- 7 日 (火) 総務、商工労働、水産、公害対策特別各委員会
- 8 日 (水) 農務、農地開発、文教林務各委員会
- 13 日 (月) 建設、石炭対策特別各委員会
- 14 日 (火) } 決算特別委員会
- 15 日 (水) }
- 16 日 (木) }
- 20 日 (月) 水産委員会
- 21 日 (火) } 決算特別委員会
- 22 日 (水) }
- 27 日 (月) 農務委員会

▶ 5 月

- 6 日 (水) 各常任委員会
- 7 日 (木) 総合開発調査特別、決算特別各委員会
- 8 日 (金) } 決算特別委員会
- 12 日 (火) }
- 13 日 (水) }
- 14 日 (木) }
- 15 日 (金) }
- 19 日 (火) }
- 20 日 (水) }
- 21 日 (木) }
- 22 日 (金) }
- 25 日 (月) }
- 26 日 (火) }
- 29 日 (金) }

▶ 6 月

- 2 日 (火) 総務、厚生、商工労働、農務、建設、水産、文教林務各委員会
- 3 日 (水) 農地開発委員会
- 4 日 (木) } 決算特別委員会
- 5 日 (金) }
- 8 日 (月) }
- 9 日 (火) }
- 10 日 (水) 公害対策特別委員会
- 15 日 (月) 決算特別委員会
- 19 日 (金) 議会運営、決算特別各委員会
- 24 日 (水) 石炭対策特別委員会
- 25 日 (木) 議会運営、議会効率化小、各常任、総合開発調査特別、北方領土対策特別、公害対策特別各委員会

委員会の動き

議会運営委員会

○6月19日（金） 午後1時12分、議会運営委員会室において開議、午後1時23分散会

委員長 吉田 政一（自民）

- ① 委員長から、5月21日付け、久田保議員（自民）から戸籍上「久田恭弘」と改名した旨届出があったこと並びに元道議会議員田中巖氏（小樽市選出、13期、14期及び16期）の逝去（5月31日）について報告。
- ② 第2回定例会の招集期日について、6月26日とすることを了承。会期については、20日間とすることに異議なく決定。
- ③ 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明並びに北海道副知事定数特例条例廃止条例案及び副知事選任案件について先議方要請があり、本件について招集日当日に先議することに異議なく決定。審議方法については、後日協議することとした。
- ④ 第2回定例会の日程について、次のとおりとすることに決定。

▽ 第2回定例会日程

6月26日	本会議（提案説明）
6月27日～30日	休会
7月1日	本会議（常任、特別委員の選任、苫小牧港管理組合議会議員等の選挙）
7月2日	本会議（代表質問）
7月3日	本会議（代表・一般質問）
7月4日	本会議（一般質問）
7月5日・6日	休会
7月7日	本会議（一般質問）
7月8日	本会議（一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置）
7月9日～13日	休会
7月14日・15日	本会議

⑤ 代表質問について、順位は、自民、社会、道政、公明の順とすることに決定の後、各会派別発言時間の使用状況について説明があった。

⑥ 請願、陳情の受理手続きについて、委員長からさきの理事会において別紙配付のとおり改正することに決定した旨報告の後、議事課長から改正内容等について説明があり、本件について議事課長説明のとおり改正の上、本日から実施することとし、議会閉会中に受付けたものも本日受理することに異議なく決定。

<別紙内容>

従前、議会閉会中において提出された請願・陳情は正式受理できなかったが、開会中、閉会中を問わず所定の要件を具備した請願、陳情が議長に提出された場合は、これを受理することとし、閉会中受理した請願、陳情の委員会付託は直近の定例会において行う。

なお、取り下げ手続きについては、従前どおり提出者から議長に対し申し出の上、議長の許可を得て行うこととし、委員会付託後に取り下げを許可した場合は直近の本会議において報告する。

⑦ 常任委員会の改組問題について、理事会決定（現行どおりとし、将来問題として継続検討方次期議会運営委員会に申し送る。）を、本委員会の決定事項とすることに異議なく決定。

⑧ 委員会構成等について、議事課長から説明。各派別委員数の配分については、後日協議することとした。

○6月25日（木） 午後4時55分、議会運営委員会室において議会効率化小委員会を開議、午後4時57分閉会

小委員長 吉田 政一（自民）

① 小委員会における審議結果について、別紙配付のとおり本委員会に報告の上、次期議会運営委員会に引継ぐことをはかり、異議なく了承。

② 各派提出の検討事項のうち、別紙配付の現在残されている事項について、委員会の改組問題と併せ次期議会運営委員会に申し送る扱

いとすることをはかり、異議なく決定。

○6月25日(木) 午後5時、議会運営委員会室
において開議、午後5時15分
散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 委員長から、伊藤知則議員(自民、札幌市白石区選出)の逝去(6月24日)並びに各派所属議員数(自民57人、社会28人、道政10人、公明5人、共産2人、無所属1人、欠員2人)について報告。議席については空席とすることに異議なく決定。
- ② 追悼演説について、同一選挙区の他会派多数会派所属議員(社会)とすること及び7月1日の本会議冒頭に行くことを決定。
- ③ 委員長から、西尾六七議長及び原清重副議長から本日付けをもってそれぞれ辞職願の提出があった旨報告の後、正副議長からあいさつ。本間喜代人オブザーバー(共産)から正副議長の辞職について発言があって、委員長から応答。本件について、委員長から6月26日の本会議において辞職を許可の後、議長及び副議長の選挙を行うことをはかり、異議なく決定。選挙方法等については、明日協議することとした。
- ④ 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明並びに明日の本会議における提案説明に先立ち、知事から日高支庁職員の不祥事について発言したい旨申し出があり、委員長から議案第11号について、明日の本会議において知事の提案説明後先議すること及び知事の職員の不祥事に関する発言の件について、申し出のとおり了承することをはかり、異議なく決定。
- ⑤ 委員長から、前会より継続審査中の議案第41号について、本日の厚生委員会において審査終了した旨報告の後、明日の本会議に上程する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 請願第45号及び第52号について、前会より継続審査中の議案第41号との関連から明日の本会議に上程する扱いとすることをはかり、異議なく決定。
- ⑦ 昨日の石炭対策特別委員会において発議決

定した要望意見案の取扱いについて、明日の本会議において議決する扱いとすることをはかり、異議なく決定。

- ⑧ 常任委員会、特別委員会及び議会運営委員会の構成等について、委員並びに正副委員長の各派配分は別紙配付のとおりすることに決定。
- ⑨ 常任委員、特別委員及び議会運営委員の各名簿並びに現特別委員の辞任届の提出について、6月29日午後5時までとすることを了承。
- ⑩ 代表質問の通告は、6月30日正午までとすることに決定。
- ⑪ 一般質問について、順位は従来の例により取り進めることとし、通告は7月1日正午までとすることに決定。
- ⑫ 予算特別委員会について、(1)構成は31人(自民17人、社会8人、道政3人、公明2人、共産1人)、(2)分科会は2分科会各15人とし、各派別委員数は各派間の調整によること、(3)正副委員長の配分について、本委員会及び第1分科会の委員長は社会、副委員長は自民、第2分科会の委員長は自民、副委員長は社会とすることを了承。
- ⑬ 企業会計決算特別委員会について、(1)構成は19人(自民11人、社会5人、道政2人、公明1人)、(2)委員長は自民、副委員長は社会とすることを了承。
- ⑭ 請願、陳情の付託について、新委員会構成後に付託する扱いとすることをはかり、異議なく了承。
- ⑮ 6月26日の本会議議事順序について、明日協議することを了承。

常任委員会

総務委員会

○4月7日(火) 午前11時13分、第5委員会室
において開議、午前11時52分
散会、委員長事故のため、
副委員長 舟山 広治(社会)

一般議事

① 副委員長から、社会保険事務の地方移管等
に関する中央折衝の実施については、異
議なく決定。派遣委員等については、委員長
に一任することとした。

② 総務部長から、地方税法の改正に伴う北海
道税条例の一部改正の専決処分について報
告。

③ 開発調整部長から、国鉄地方交通線に関す
る説明の後、

小田原要四蔵委員(社会)から、運輸省の
廃止対象線区の対策についての基本的考え
方、特定地方交通線対策協議会の開催時期、
線区関係者との協議の進め方について
質疑があり、開発調整部長から答弁。

④ 小田原要四蔵委員(社会)から、道への派
遣大使に関し、北方領土問題懇話会における
発言の真意、道議会と大使との話し合いの場
を作る考え、4月・5月のスケジュール、泊
村原発立地予定地の視察理由、日程変更の検
討方について

質疑、意見及び要望があり、総務部長から答
弁。

○5月6日(水) 午後1時48分、第5委員会室
において開議、午後3時2分
散会、委員長事故のため、
副委員長 舟山 広治(社会)

請願・陳情の審査

請願

第9号 伏古3条4丁目交差点の信号機早
期設置の件 (採択)

一般議事

① 副委員長から、さきに実施した社会保険事
務の地方移管等に関する中央折衝の概要につ

いて報告書により報告、異議なく了承。

② 副委員長から、交通事故防止対策の推進状
況等調査のための道外調査の実施については
かり、異議なく決定。実施時期等については、
委員長に一任することとした。

③ 総務部長から、工事請負契約に係る専決処
分について説明。

④ 生活環境部長から、北海道危険動物飼養規
制条例の施行状況について報告。

⑤ 総務部長から、道派遣大使の北方領土問題
北海道懇話会におけるクリル諸島の範囲に関
する発言の趣旨について説明。

⑥ 小田原要四蔵委員(社会)から、(1)自然環
境の保全に関し、道自然環境保全条例に基
づく緑化指針の取扱いの経過と今後の対処方、
緑化指針策定の具体的手法、(2)自衛隊機の長
沼町墜落事故に関し、道の処理と事故原因の
報告方、(3)千歳空港に関し、国際化による札
幌～ホノルル間の利用状況と今後の見通し及
び利用拡大対策、新千歳空港国際化の拡大に
ついで展望

小野秀夫委員(道政)から、海の交通対策
に関し、発展計画における全道の港湾貨物取
扱計画量と55年までの実績及び主要港湾間の
港勢の格差、茨城県大洗港・室蘭間のフェリ
ー航路開設の具体的促進対策及び苫小牧地区
開発連絡協議会との調整等について
質疑及び意見があり、生活環境部長、開発調
整部長及び総務部長から答弁。

○6月2日(火) 午後1時45分、第5委員会室
において開議、午後2時55分
散会、委員長事故のため、
副委員長 舟山 広治(社会)

一般議事

① 副委員長から、さきに実施した道外にお
ける交通事故防止対策及び文化行政の推進状
況等調査の概要について報告書により報告、異
議なく了承。

② 総務部長から、北海道職員の勤務時間及び
休暇等に関する条例の一部を改正する条例
(いわゆる4週5休方式を実施するための条
例)の施行及び市町村長への事務の権限委譲
について報告。

③ 副委員長から、道立自然公園、開拓記念館等の状況調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一人することとした。

④ 小田原要四蔵委員（社会）から、(1)国会における北方3島の根室管内市町村への編入にかかる特例法案の動向に関し、道の受けとめ方と対応、提案に対する道の意見表明の必要性、(2)後志管内公平委員会の規則改正に関し、喜茂別町管理職員等の範囲の拡大に対する見解、公平委員会の措置の妥当性、道の指導助言の考え等について
質疑、意見及び要望があり、総務部長から答弁。

○6月25日（木） 午後1時28分、第5委員会室において開議、午後2時38分散会、委員長事故のため、
副委員長 舟山 広治（社会）
開議に先立ち、副委員長から、伊藤知則委員長（自民）の逝去（6月24日）について報告の後、弔意を表し黙とう。

一般議事

- ① 総務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 副委員長から、さきに実施した道内文化施設実情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 総務部長から、日高支庁職員の不祥事件に関し報告の後、
小田原要四蔵委員（社会）から、事件発生を知った時期、本委員会に報告しなかった理由、処分の根拠となる地公法適用条項、事件の公表に対する考え方、前日高支庁長の現在の処遇と今後の道の対応等について
（関連して、中田繁夫委員（社会）から、前日高支庁長を部付として待命させている考えについて）
質疑及び意見があり、総務部長から答弁。
- ④ 開発調整部長から、国鉄地方交通線について報告。
- ⑤ 生活環境部長から、日高山脈・えりも国定公園の指定及び第3次北海道交通安全計画について報告。

⑥ 副委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、配付のとおりとすることをはかり異議なく決定。

⑦ 小田原要四蔵委員（社会）から、東洋信販(株)の国土利用計画法違反問題に関し、届出の実態、移転登記の問題等の明示、国土庁の指示による緊急調査のあり方、届出の際のチェック方法、調査結果の報告方について
質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

厚生委員会

○4月6日（月） 午後1時37分、第9委員会室において開議、午後2時1分散会
委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 民生部長から、行政改革に関するその後の経過について報告。
- ② 委員長から精神障害者福祉法の制定に関する中央折衝の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一人することとした。
- ③ 民生部長から、社会福祉法人厚真福祉会及び岩見沢緑成園に関し、その後の経過について報告。
- ④ 民生部長から、ベビーホテルの一斉点検実施結果について報告。
- ⑤ 民生部長から、デンタルローンに関し、その後の経過について報告の後、
保格博夫委員（社会）から、旭川市におけるデンタルローンの実態、札幌市におけるデンタルローンの廃止状況等について
質疑、意見及び要望があり、民生部長から答弁。
- ⑥ 保格博夫委員（社会）から、福祉灯油制度に関し、昭和55年度の特別生活資金貸付実績、昭和55年度における市町村の取り組み状況と実施市町村が減少した理由、国の福祉灯油構想と道の対応、弾力的な検討方について
質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

○5月6日（水） 午後2時38分、第9委員会室

において開議、午後3時31分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さき実施した精神障害者福祉法の制定に関する中央折衝の概要について報告、異議なく了承。
- ② 民生部長から、社会福祉法人岩見沢緑成園のその後の経過について報告。
- ③ 民生部長から、行政改革に関するその後の経過について報告の後、
保格博夫委員（社会）から、ベビーホテル問題に関する国の乳児院等の活用通知にかかる道の対応、乳児院の餞函移転構想の再検討について
質疑及び意見があり、民生部長から答弁。
- ④ 衛生部長から、財団法人歯誠学園の調査結果について報告の後、
保格博夫委員（社会）から、寄付金と入学選抜、寄付金の返還状況と返還計画、法人の再建計画等について
質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

本日聴取した陳情

精神薄弱者更生施設建設について
社会福祉法人白老宏友会
設立発起人代表 谷島哲郎

○6月2日（火） 午後2時15分、第9委員会室
において開議、午後3時11分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

付託案件の審査

- 議案第41号（北海道立静和園条例を廃止する条例案）及び請願第45号（北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件）並びに請願第52号（道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築・充実を求める件）を一括議題とし、民生部長から議案第41号について説明の後、
輪島幸雄委員（社会）から、静和園廃止に関し、入所者の理解度、社会福祉法人敬生会の申請にかかる養護老人ホームに対する国庫補助及び建設の見通しについて
質疑があり、民生部長から答弁。

請願、陳情の審査

請願

- 第16号 道内における学生生活の条件改善に関する件（採択）
- 第35号 看護学生の修学資金増額等に関する件（採択）

陳情

- 第60号 精神障害者の社会復帰に関する件（採択）

一般議事

- ① 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ② 民生部長から、行政改革にかかるその後の経過について報告の後、
保格博夫委員（社会）から、ベビーホテルと乳児院の問題に関し、ベビーホテルの実態と対策、無認可保育所対策、札幌市における夜間保育所所在場所の妥当性及び乳児院の必要性と市の見解、乳児院移転用地の有無について
質疑及び意見があり、民生部長から答弁。
- ③ 民生部長から、社会福祉施設「太陽の園」における殺人事件について報告。
- ④ 衛生部長から、エヒノコックス症患者の発生について報告の後、
保格博夫委員（社会）から、非汚染地域での患者発生と対策協議会の見解及び対策、夕張・東神楽地区の対策、医学的究明及び汚染地域の見直し、水利不便地区の対策強化、啓蒙活動の必要性について（関連して、山家勇委員（社会）から、産炭地域におけるキツネ等媒介動物の実態調査にかかる保健所に対する道の指導について）
質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答弁。

本日聴取した陳情

特別養護老人ホームの設置について
上富良野町議会議員

○6月25日（木） 午前11時7分、第9委員会室
において開議、午後零時36分
散会
委員長 宇野 真平（自民）

付託案件の審査

- 議案第41号（北海道立静和園条例を廃止する条例案）を議題とし、

輪島幸雄委員（社会）から、入園者との話合いの経過と現状及び今後の方針等について質疑及び意見があり、民生部長から答弁があって質疑を終結。付託案件に対する意見調整のため午前11時28分休憩、午前11時35分再開。委員長から、休憩中、理事会において協議の結果、意見の一致をみるに至らなかった旨報告の後、討論に入り、保格博夫委員（社会）から、議案第41号に対する反対討論があって討論終結。ついで、採決に入り、挙手採決の結果、挙手多数（社会反対）をもって原案のとおり可決と決定。

輪島幸雄委員（社会）から、少数意見を留保する旨発言。

付託案件に対する委員長報告については、委員長に一任することとした。

請願、陳情の審査

請 願

第23号 国民病・B型肝炎撲滅と患者の生活保障対策の確立に関する件（採択）

本件について、民生部長及び民生部長から説明の後、高橋康之委員（自民）から、B型肝炎の研究機関の設置及び社会保険の傷病手当金等の給付内容の改善についての国に対する要請について

意見があり、衛生部長から応答。

第45号 北海道立養護老人ホーム静和園の廃止案撤回と新築・充実を求める件

（不採択）

第52号 道立養護老人ホーム静和園の廃止案の撤回並びに新築、充実を求める件

（不採択）

第49号 保育所幼児（3～5歳）に生牛乳給食実施のための道費補助に関する件

（採択）

本件について、民生部長から説明の後、高橋康之委員（自民）から、措置費の増額等について国への要請方について意見があった。

第71号 「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件（一部を除き採択）

一 般 議 事

① 委員長から、さきを実施した道外における厚生事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 民生部長及び衛生部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

③ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることをほかり、異議なく決定。

④ 衛生部長から、公衆浴場入浴料金統制額の改定について報告の後、

砂原清治委員（社会）から、減価計算の検討について要望。

⑤ 衛生部長から、歯誠学園の寄付金返還に係るその後の経過等について報告の後、

保格博夫委員（社会）から、寄付金返還に係る念書についての道の把握状況、55年以前の寄付金の返還に対する道の考え方、寄付金と法人運営との関係、理事会の責任と道の指導のあり方等について

質疑及び意見があり、衛生部長から答弁。

⑥ 民生部長から、行政改革にかかわるその後の経過について報告の後、

輪島幸雄委員（社会）から、中央乳児院及び内部障害者更生指導所に関する札幌市との協議促進について

質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

⑦ 輪島幸雄委員（社会）から、身体障害者の道職員採用に関し、ろうあ者に対する配慮について

質疑及び意見があり、民生部長から答弁。

商 工 労 働 委 員 会

○ 4月7日（火） 午後1時38分、第8委員会室において開議、午後3時6分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一 般 議 事

① 商工観光部長から、「北海道エネルギー概況」について説明。

② 商工観光部長及び労働部長から、札幌トヨベツ(株)の倒産問題に係るその後の経過と措

置について説明の後、

榎林巖委員（社会）から、大型倒産事業主の指定に伴う雇用調整給付金及び出向給付金の支給限度日数と適用期間、労働組合がない場合の給付金支給の可否等について質疑があり、労働部長から答弁。

③ 労働部長から、「昭和55年中小企業賃金実態調査報告書」の概要について説明。

④ 関根建二委員（社会）から、北電の泊村地権者に対する生活資金の貸付けに関し、北電社長の記者会見における適法発言に対する見解、電気事業会計規則第5条との関連における見解、北電と地権者間の借用証書及び覚書の内容と金銭消費貸借との関係、電気事業会計規則第7条及び金融法との関連にかかわる見解、泊村の行政指導のあり方と道の指導、派遣大使の泊村出張の日程及びその目的について（関連して、吉田英治委員（社会）から、金銭消費貸借契約書の存否について）

質疑及び意見があり、商工観光部長から答弁。

⑤ 榎林巖委員（社会）から、北海道急行トラック（株）の従業員解雇問題のその後の経過と措置について

質疑及び要望があり、労働部長及び地労委事務局長から答弁。

○5月6日（水） 午後1時40分、第8委員会室において開議、午後3時37分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一般議事

① 委員長から、さきに実施した季節労働者の雇用安定及び心身障害者の雇用促進に関する中央折衝並びに道外における商工労働事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

② 商工観光部長から、特定不況地域振興ビジョンについて説明の後、

柳谷正一委員（公明）から、振興ビジョンの具体化に関し、道発展計画及び地元の総合開発との関連、実施計画作成の考え、テクノポリス構想の現状と本道への誘致方について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

③ 商工観光部長から、北海道観光圏別整備基本計画の概要について説明の後、

吉田英治委員（社会）から、基本計画の具体化に関し、実施計画策定の考え、財政措置、観光施設の効率的整備と市町村・道の連絡調整等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

④ 関根建二委員（社会）から、(1)灯油価格の抑制に関し、需給の状況と在庫量、値上げに対する国の姿勢と道の対応、(2)職業訓練問題に関し、第2次職業訓練計画の成果と総括及び第3次計画の取組み、職業訓練指導員研修センター設置構想の動向等について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。

○6月2日（火） 午後2時10分、第8委員会室において開議、午後5時1分散会

委員長 池島 信吉（社会）

一般議事

① 商工観光部長から、本道における中小工業の業種別振興指針について説明の後、

吉田英治委員（社会）から、56年以降の業種選定年次計画、農業用機械製造業を第一に選定した理由、地域振興策の必要性について質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

② 商工観光部長から、いすゞ自動車株式会社之苦東進出について報告。

③ 商工観光部長から、苦東コールセンター基本計画について説明。

④ 労働部長から、昭和56年度北海道年次雇用計画について説明。

⑤ 関根建二委員（社会）から、大型店の進出に伴う地場商業振興対策に関し、55年度の大店出店状況、商調協の設置状況及び活動状況、商調協のあり方と委員のモラル及び道の指導、大型店進出対策特別資金の融資実績、大型店進出対策商店街環境実態調査の結果と対策、地場商業の体質強化対策について（関連して、吉田英治委員（社会）から、実態調査の適時、早期実施と対象の拡大、制度資金

(議決不要)

の融資条件の改善、大型店出店と都市計画について)

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長から答弁。

- ⑥ 榎林巖委員(社会)から、社会福祉施設「太陽の園」における女子職員の殺害事件に関し、女子職員の深夜勤務と労基署の許可状況、女子職員の勤務実態、宿直体制の見直しに伴う労働条件、被害職員の労災適用の見直し、遺族に対する道の対応姿勢について質疑及び要望があり、労働部長から答弁。
- ⑦ 吉田英治委員(社会)から、(株)紳装の倒産に関し、関連・系列会社の現況と今後の見直し、再建計画の進捗状況と道の協力、離職者対策と道の指導援助について質疑及び要望があり、商工観光部長及び労働部長から答弁。
- ⑧ 関根建二委員(社会)から、北海道厚生年金会館の労働組合の結成問題に関し、不当労働行為救済申立の地労委における審査日程、使用者介入と道の指導について質疑及び意見があり、労働部長及び地労委事務局長から答弁。

○6月25日(木) 午前11時6分、第8委員会室において開議、午前11時13分散会
委員長 池島 信吉(社会)

一般議事

- ① 商工観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることをほかり、異議なく決定。

農務委員会

○4月8日(水) 午後2時45分、第7委員会室において開議、午後5時散会
委員長 武部 勤(自民)

請願、陳情の審査

陳情

第31号 根室馬鈴しよ原種農場存続の件

一般議事

- ① 農務部長から、融雪状況及び4月の営農指導について報告。
- ② 農務部長から、第2期水田利用再編対策について報告の後、
岡本栄太郎委員(社会)から、団地化加算に関する連担の定義及び地域振興作物に関する枠の拡大について質疑があり、農務部長及び水田総合利用対策事務局次長から答弁。
- ③ 神本三也委員(社会)から、北電の泊村地権者に対する生活資金の貸し付けに関し、実態の把握及び農地法との関係について質疑があり、農務部長及び農地調整課長から答弁の後、理事会開催のため午後3時32分休憩、午後4時55分再開。委員長から本件の取扱いについて発言。

○4月27日(月) 午後2時9分、第7委員会室において開議、午後5時45分散会
委員長 武部 勤(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した畜産物価格関連対策(特別融資関係等)に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 農務部長から、さきの委員会において神本三也委員(社会)から質疑のあった共和・泊原発候補地に関する農地問題の調査の結果について報告の後、
神本三也委員(社会)から、調査結果に基づく農地法上の問題点、金銭消費貸借契約書及び覚書等による北電からの生活資金の貸付けと農地法との関係、泊村長が立会したことに対する見解、農地の現況把握等
岡本栄太郎委員(社会)から、申入書、金銭消費貸借契約書及び覚書の内容と農地法違反の疑い、北電の資金貸付けの目的と合法性及び道の対処姿勢等について質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ③ 農務部長から、乳製品の在庫について報告

の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、過剰在庫問題に関する道の見解、道内在庫の把握と畜産振興審議会に対する対策

神本三也委員（社会）から、雪印乳業の工場閉鎖、受け入れ削減による委託加工の増加と乳価への影響及び道の指導について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

- ④ 農務部長から、渡島支庁管内における牛の結核病の集団発生について報告の後、

岡本栄太郎委員（社会）から、原因究明の有無、罹患牛と購入先の森町の牧場飼養牛との関係、今後のまん延防止策等について
質疑があり、家畜衛生監から答弁。

- ⑤ 岡本栄太郎委員（社会）から、食肉流通問題に関し、足寄町における東方ファームの事業計画の内容と地元への影響及び道の今後の対応

神本三也委員（社会）から、酪農対策に関し、酪農家の特別融資対策の進捗状況及び国に対する要請内容等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○5月6日（水） 午後2時12分、第7委員会室
において開議、午後4時9分
散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- ① 委員長から、道内における農業事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- ② 農務部長から、農作業の進捗状況について報告。

- ③ 佐藤静雄委員（自民）から、食管法の改正案に関し、改正の内容と国会における審議の見通し、類別需要量の導入と集荷区域の拡大に対する見解

岡本栄太郎委員（社会）から、食管法改正案の内容と本道に及ぼす影響等について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁の後、岡本栄太郎委員（社会）から本件に関

する中央折衝の実施方について発言があり、委員長から応答。

- ④ 神本三也委員（社会）から、てん菜に係る諸対策に関し、てん菜の作付見込みと砂糖をめぐる現状認識、異性化糖及び糖価に係る特例法に対する取り組み方、てん菜生産振興計画の策定と審議会のあり方、計画数値と作付の実態、ビート工場の処理能力と対応策

岡本栄太郎委員（社会）から、(1)ビートの生産拡大と異性化糖対策に関する見解、(2)酪農対策に関し、酪農経営改善資金の階層別貸付方針と負債整理資金の活用、償還金の棚上げと資金枠の増枠について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○6月2日（火） 午後2時22分、第7委員会室
において開議、午後4時2分
散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した食管法の一部改正に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 農務部長から、異常低温等による家畜等の被害状況について報告の後、

高橋正四郎委員（自民）から、放牧牛の大量死の原因、防風林及び待避舎の必要性、全額国庫負担による家畜共済金の支給見通しと自作農維持資金の活用方針、公共牧場の管理規程見直し

工藤啓二委員（公明）から、牛の耐寒性と事故責任

湯田倉治委員（道政）から、事故責任の所在について

質疑、意見及び要望があり、農務部長及び家畜衛生監から答弁。

- ③ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることををはかり、異議なく決定。

- ④ 神本三也委員（社会）から、砂糖をめぐる諸問題に関し、砂糖売り戻し特例法の延長と本法繰り入れについての見解及び対応、てん菜振興計画と長期見通し、異性化糖と馬鈴し

よでん粉とのかかわり、甘味資源審議会に臨む姿勢

岡本栄太郎委員（社会）から、甘味資源審議会の委員名と知事の出席見通し、異性化糖の抱き合せ率に対する考え、異性化糖の道内工場建設の動きについて
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

○6月25日（木） 午前11時、第7委員会室において開議、午後零時45分散会
委員長 武部 勤（自民）

一般議事

- ① 農務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和56年産麦の政府買入価格等に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 委員長から、さきに実施した道内における農業事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることをほかり、異議なく決定。
- ⑤ 農務部長から、農作物生育状況並びに農作業の進捗状況について報告の後、
湯田倉治委員（道政）から、今後の天候回復に伴う農作物の生育見通し
岡本栄太郎委員（社会）から、農作物生育状況の調査方法と取りまとめ方、低温障害を認識した技術指導と周知徹底について
質疑及び意見があり、農務部長から答弁。
- ⑥ 農務部長から、昭和56年度水田利用再編対策実施計画について報告の後、
吉野之雄委員（社会）から、転作目標面積の調整の考え
岡本栄太郎委員（社会）から、団地化加算と転作目標を超過した理由について
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。
- ⑦ 農務部長から、第23回甘味資源審議会の概要について報告の後、
岡本栄太郎委員（社会）から、てん菜及び砂糖きびにかかる建議内容と道の基本姿勢、

異性化糖工場の建設問題、てん菜の生産数量と処理能力について

質疑があり、農務部長から答弁。

- ⑧ 農務部長から、食管法の一部改正について報告。
- ⑨ 岡本栄太郎委員（社会）から、(1)第2次臨調についての取り組み方、(2)酪農負債対策に関し、負債整理資金が農業信用保証保険の保証対象にならない理由と道の対応及び経過、対象となる見通しについて
質疑、意見及び要望があり、農務部長から答弁。

本日聴取した陳情

昭和56年産生産者米価の引き上げ等について
昭和56年産生産者麦価の引き上げ等について
総合的な甘味対策について
北海道農民連盟事務局長

建設委員会

○4月13日（月） 午前10時40分、第4委員会室において開議、午前11時散会
委員長 水沼徳一郎（自民）

請願、陳情の審査

請願

第77号 「モーテル類似旅館」の建築規制等に関する件（採択）
本件について建築指導課長から説明の後、伊藤豪委員（道政）から、市町村に対する行政指導の強化について要望。

一般議事

- ① 藤井虎雄委員（社会）から、労働災害問題に関し、建設業の労働災害の現状、業者に対する労災防止の指導について
（関連して、湯本芳志委員（社会）から、本道の労働災害多発の要因、労働安全衛生面における本道の地域的ハンディの把握と認識、被災労働者の分析調査及び業者に対する指導方について）
質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

- ② 土木部長から、工事施工に係る土木現業所職員の不祥事件について報告。

○5月6日(水) 午後1時37分、第4委員会室
において開議、午後2時36分
散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

請願、陳情の審査

請願

第38号 精進川旧河川敷地の払い下げに関する件 (採択)

第69号 道営住宅の敷金還付に関する件 (保留)

本件について住宅課長から説明の後、萩上元春委員(社会)から、昭和55年度以前の入居者の敷金に関し、1か月分還付できない理由、預かり額及び運用の状況、基金制度導入の考え、環境整備費と修繕費との相違点、敷金還付と条例改正について(関連して、藤井虎雄委員(社会)から、敷金還付と道公営住宅条例との関係に対する道の公式見解について)

質疑があり、住宅都市部長から答弁。藤井虎雄委員(社会)から、今後の議事の取り扱いについて協議願いたい旨発言があり、理事会において協議の後、委員長から、本件について結論を保留することをはかり、異議なく決定。

一般議事

- ① 土木部長から、有珠山の土石流について報告の後、

湯本芳志委員(社会)から、土石排除の着手及び完了の時期等

伊藤豪委員(道政)から、砂防ダム設置の今後の方針について

質疑及び要望があり、土木部長から答弁。

- ② 萩上元春委員(社会)から、七飯町の建設業者の倒産に関し、(株)鈴木事業所の倒産と関連下請業者の現況について

質疑及び要望があり、土木部長から答弁。

- ③ 土木部長から、土木現業所職員の交通事故について報告の後、

湯本芳志委員(社会)から、事故の原因究明と今後の対処方針及び道の補償責任等につ

いて

質疑及び意見があり、土木部長から答弁。

○6月2日(火) 午後1時37分、第4委員会室
において開議、午後1時57分
散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

請願、陳情の審査

請願

第69号 道営住宅の敷金還付に関する件 (保留)

本件について住宅都市部長から発言の後、萩上元春委員(社会)から、敷金還付に対する道の早期対応について要望があり、委員長から、本件について結論を保留することをはかり、異議なく決定。

一般議事

- 浅野俊一委員(公明)から、当別ダムの建設に関し、事業主体、事業の進捗状況、建設箇所が明確になる時期、住民の反対署名提出に対する見解及び今後の地域住民との対応等について

質疑、意見及び要望があり、土木部長から答弁。

○6月25日(木) 午前10時55分、第4委員会室
において開議、午前11時10分
散会
委員長 水沼徳一郎(自民)

一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

- ② 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、配付の引継書のとおりとすることをはかり、異議なく決定。

農地開発委員会

○4月8日(水) 午後1時27分、第3委員会室
において開議、午後1時33分
散会
委員長 高田 忠雄(道政)

一般議事

- 農地開発部長から、昭和56年度公共事業の道営工事発注計画について説明。

- 5月6日（水） 午後1時25分、第3委員会室において開議、午後1時30分散会、委員長事故のため、副委員長 古川 靖晃(自民)

一般議事

- 農地開発部長から、1月23日の日高支庁西部地震による農地、農業用施設の災害状況について報告。

- 6月3日（水） 午前10時29分、第3委員会室において開議、午前10時39分散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、昭和56年度小規模農用地整備事業の概要について報告。
- ② 農地開発部長から、第4回全国土地改良大会の計画概要について報告。
- ③ 委員長から、道外調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。

- 6月25日（木） 午前10時49分、第3委員会室において開議、午前11時2分散会
委員長 高田 忠雄（道政）

一般議事

- ① 農地開発部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 農地開発部長から、日高西部地震及び融雪による農業用施設の災害状況について説明。
- ③ 委員長から、さきに実施した府県における農業基盤整備事業等の事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ④ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることをほかり、異議なく法定。

水産委員会

- 4月7日（火） 午後1時12分、第6委員会室において開議、午後1時58分散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、日ソ親善協会発行の会員証に関する報告の後、
星野健三委員（社会）から、日ソ親善協会に対する要請の内容、過去における会員証発行の状況、発行に際しての指導状況について質疑及び要望があり、水産部長から答弁。
- ② 委員長から、道内における水産事情調査の実施については、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ③ 星野健三委員（社会）から、「共和・泊原子力発電所建設に係る漁業影響に関する中間報告書」に関し、具体的内容、本報告書の作成時期と議会への提出時期等
長岡寅雄委員（社会）から、根室冷凍水産加工協同組合の不良貸付事件に関し、事件の概要、不良債権の対処方法、監査指導の実施状況、監査のあり方、検査実績と今後の見通し、未然防止対策の検討方について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

- 4月20日（月） 午後2時3分、第6委員会室において開議、午後3時16分散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一般議事

- ① 水産部長から、日ソ漁業交渉の結果について報告の後、
星野健三委員（社会）から、「漁業経営の現状と見通し」の内容に関し、北海道における海面漁業の漁獲量の確認、北洋漁業の収益悪化の理由、燃油の値上げ状況と省エネの実施状況、魚価安定に対する指導方向
岩崎守男委員（社会）から、入漁料と漁業協力費との相違、領海外の協力費が領海内の入漁料より高くなる理由、公海における漁獲に協力費を支払うことになった経緯、協力金

の国内配分の見通しと漁民負担の内容、将来見通しの不安に対する見解

- ② 川崎守委員（共産）から、(1)日ソ親善協会の会員証問題に関し、その後の経過、船名を入れた理由、日ソ親善協会のあり方、(2)噴火湾におけるホタテ貝毒に関し、貝毒発生の原因、原因究明の必要性と具体的対策について質疑、意見及び要望があり、水産部長及び水産資源保護課参事から答弁。

○5月6日（水） 午後2時5分、第6委員会室
において開議、午後3時15分
散会
委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- ① 水産部長から、共和・泊原発建設にかかわる漁業影響に関する報告の後、

星野健三委員（社会）から、報告内容の明確化、漁業に与える影響に対する考え方、道の広報紙「原子力発電」におけるエネルギーの確保と原子力の安全性に関する記述内容とその妥当性

川崎守委員（共産）から、放水口の位置と回遊魚の産卵場所、温排水による産卵への影響

岩崎守男委員（社会）から、道の調査と北電の調査の相違点、中間報告と今回の報告との差異等について

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

- ② 久田保委員（自民）から、漁業の省エネルギー対策に関し、省エネ船改造経費の融資制度と周知徹底、補助帆使用船の開発等省エネ対策資金制度の創設

長岡寅雄委員（社会）から、道営こんぶ検査の民間移行に関し、漁業者の意見、自主検査の動向

川崎守委員（共産）から、毛がにの漁獲に関し、若がにの漁獲実態と毛がにに資源に与える影響、資源保護に関する指導について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○6月2日（火） 午後1時23分、第6委員会室
において開議、午後3時20分
散会

委員長 小笠原 孝（自民）

一 般 議 事

- ① 委員長から、さきを実施した道内水産事情調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 委員長から、さきを実施した日米合同訓練による日本海ます漁業被害問題に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ③ 水産部長から、日米合同訓練による日本海ます漁業被害について説明の後、

星野健三委員（社会）から、合同訓練の具体的状況、事故発生時における米ソ艦船の航行状況

石川十四夫委員（道政）から、漁具等の被害補償、無利子無担保のつなぎ融資等道の救済措置

川崎守委員（共産）から、被害当時の具体的状況、合同訓練海域に積丹沖が含まれていたことの実態関係、日本艦船の加害の有無、訓練海域設定の方法、被害の実態調査、国の責任と補償、国に対する道の対応姿勢について質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁の後、長岡寅雄委員（社会）から、再発防止のため要望意見書を発議すべき旨の発言があつて、委員長から応答。

- ④ 水産部長から、水産物検査業務にかかる自主格付機関設立の経過並びに今後の取扱いについて説明の後、

長岡寅雄委員（社会）から、北海道水産物検査協会の設立に関し、関係者の合意の有無、北海道水産物検査条例と自主検査との関連及び検査体制、協会の運営安定基金の創設等育成援助の考え、検査業務に従事していた普及員の処遇

岩崎守男委員（社会）から、道営検査の民間移行の必要性の有無、道条例を改正しないで民間移行する理由、検査機関の設立と道職員の下取りとの関連性

川崎守委員（共産）から、格付員の構成と道職員の天下り受入れ団体の設立、団体設立のメリットについて

質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

○6月25日(木) 午前10時56分、第6委員会室
において開議、午前11時30分
散会
委員長 小笠原 孝(自民)

一般議事

- ① 水産部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、配付の引継書のとおりとすることをはかり、異議なく決定。
- ③ 長岡寅雄委員(社会)から、道営こんぶ検査の民間移行に関し、移行後の検査体制と協会の財政運営、普及員の位置づけ
滝沢勉委員(自民)から、こんぶ検査の民間移行に関し、協会に対する道の指導協力と財政援助
川崎守委員(共産)から、共和・泊原発建設問題に関し、北電と泊漁協との漁業補償交渉に対し道が参加した事実とその経緯、原発建設と岩内郡漁協の了解との関係について
質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁。

文教林務委員会

○4月8日(水) 午後1時51分、第10委員会室
において開議、午後3時39分
散会
委員長 熊谷 克治(社会)

請願、陳情の審査

請願

第109号 公立小学校、中学校、高等学校、
障害児学校の主任等に対する教育業務連絡指導手当(主任手当)
の予算計上を行わず、児童・生徒の教育を保障する教育条件整備費用に充当することをもとめる件
(議決不要)

一般議事

- ① 教育長から、森町の中学校統合問題について説明の後、
鈴木誠二委員(社会)から、学校統合の取り
進め方と将来展望、地域性を考慮した指導方

本間喜代人委員(共産)から、入学式を控えての早期解決方策、教育局次長の派遣等による現地対応の必要性、学級編成と教員配置についての考え方等について
質疑、意見及び要望があり、教育長から答弁。

- ② 米村邦敏委員(社会)から、木材業の不況対策に関し、木材需要の拡大対策、製材在荷量増大の現状把握と適正在荷量、工場の休業等に伴う従業員対策、景気浮揚に対する道の対策、金融対策の必要性、住宅建設における木材使用拡大の必要性、農山村の振興対策、公共事業の前倒し執行の促進方、道有林木材販売についての対処策

本間喜代人委員(共産)から、北海道社会開発公社の林地開発行為に関し、林地開発許可申請に対する道のチェック内容、資金面に対する審査と許可の有無、資金計画の変更による取り扱い方等について
質疑、意見及び要望があり、林務部長及び次長から答弁。

○5月6日(水) 午後2時40分、第10委員会室
において開議、午後3時40分
散会
委員長 熊谷 克治(社会)

一般議事

- ① 教育長から、工事請負契約に係る専決処分予定事業について説明の後、
本間喜代人委員(共産)から、事業費の総額について
質疑があり、教育長から答弁の後、本間喜代人委員(共産)から契約額等に係る専決処分の検討について議会運営委員会への申し入れ方要望があり、委員長から応答。
米村邦敏委員(社会)から、継続事業の請負契約に関し、継続事業に係る請負契約の方法と地元業者の優先指名方、提示資料における新規、継続事業の区分の明確化等について
質疑及び要望があり、教育長から答弁。
- ② 米村邦敏委員(社会)から、間伐促進対策事業に関し、道の基本的考え方、56年度事業の進め方、予算の措置状況、カラマツの割合、要間伐面積16万haの事業計画、間伐材需要の現状とカラマツ集出荷センターにおける

事業量の見通し、森林所有者の山づくりに対する指導強化等について

質疑、意見及び要望があり、林務部長から答弁。

- ③ 本間喜代人委員(共産)から、(1)森町の中学校統合問題に関し、登校拒否等の現状と経過、学級編成及び教員配置の状況、(2)私立幼稚園の納付金に関し、値上げの状況、値上げ抑制対策、園則変更届の早期提出方の指導等について

質疑、意見及び要望があり、教育長及び学事課長から答弁。

○6月2日(火) 午後1時53分、第10委員会室
において開議、午後4時55分
散会

委員長 熊谷 克治(社会)

一般議事

- ① 委員長から、道外における文教林務事情調査の実施についてはかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

- ② 教育長から、公立高等学校入学者選抜に関する改善案について説明の後、

米村邦敏委員(社会)から、総合選抜制の導入等に係る昭和52年の入選協答申を反映できなかった理由、通学区改編による試験地獄、学校間格差及び遠距離通学の解消効果、特別学区設定による学校間格差の助長、学力検査の日程短縮の根拠とメリット、日常学習の評価と検査結果との関係、推薦入学制導入の目的と問題点、都市部における総合選抜制導入の時期

鈴木誠二委員(社会)から、改善案決定に至る今後の手続き、議会対応についての考え方

本間喜代人委員(共産)から、総合選抜制を導入しない理由、学区外就学率の固定化の有無、遠距離通学解消と国鉄ローカル線廃止との関連について

質疑及び意見があり、教育長から答弁。

- ③ 教育長から、釧路工業高校ボート部員の水死事故及び枝幸高校ボクシング部員による小学生死亡事故について報告の後、

米村邦敏委員(社会)から、(1)ボート部の事

故に関し、気象状況把握の実態、コーチの身分と委嘱基準、コーチが事故に遭遇した場合の学校安全会の補償の有無、コーチ等指導者について委嘱実態の把握、研修及び補償に対する考え方、(2)ボクシング部の事故に関し、事故後における具体的措置状況、練習施設の安全管理の状況、死亡事故に伴う補償についての考え方、被害者救済措置の必要性等について

質疑及び意見があり、教育長から答弁。

- ④ 米村邦敏委員(社会)から、(1)札幌の藻岩、円山の原始林の保護対策、(2)森林組合問題に関し、湧別町における新森林組合設立の動きと道の指導方針、森林組合における事業縮小、作業員解雇等の実態把握、運営に対する道の適切な指導方

本間喜代人委員(共産)から、(1)森町の中学校統合問題に関し、道教委の対処姿勢、屋内体育館建築に係る国の補助の見通し、(2)胆振西学区における高校新設場所についての考えと決定の時期、(3)私学助成の現況、公立学校との教育条件の格差等に関する資料の提出方等について

質疑、意見及び要求があり、林務部長及び教育長から答弁。

○6月25日(木) 午前10時56分、第10委員会室
において開議、午前11時12分
散会

委員長 熊谷 克治(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきを実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。

- ② 教育長から、第2回定例会提出予定案件について説明。

- ③ 委員長から、委員の交代に伴う引継ぎ事項について、配付のとおりとすることをはかり、異議なく決定。

- ④ 本間喜代人委員(共産)から、学校プールの整備に関し、道スポーツ振興審議会の建議書との関連における特殊学校のプール整備の考え方、整備に当たっての特殊事情の配慮について

質疑及び要望があり、教育長から答弁。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

○5月7日(木) 午前11時10分、第11委員会室
において開議、午後零時51分
散会

委員長 作田 政次(自民)

① 委員長から、道内調査の実施についてはか
り、異議なく決定。派遣委員等については、
委員長に一任することとした。

② 開発調整部長から、いすゞ自動車株式会
社の苫東基地の用地購入について説明の後、

萩上元春委員(社会)から、(1)いすゞ自動
車株式会社の苫東進出に関し、同社の経営概
況、用地の買収計画、事業計画書の提出時期、
日米自動車問題との関連、工業用水、従業員
の確保、下請企業等受入体制の整備、用地購
入の目的、(2)苫東開発に関し、工業用地面積
と企業の進出計画、コールセンター建設の動
向、三井グループの進出見通し、東港建設の
見通し、国の大型プロジェクト見直しとの関
連、今後の企業誘致の見直しと対策

本間喜代人委員(共産)から、いすゞ自動
車株式会社の苫東進出に関し、取得用地の使
用目的及び事業計画書の提出指導、58年目標
の第2段階計画の変更の考え、経済的波及効
果の確保と下請関連企業の条件整備、工業用
水の利用計画、用地の分譲価格と積算内容等
について

質疑、意見及び要望があり、開発調整部長及
び大規模工業基地開発事務局長から答弁。

○6月25日(木) 午後3時20分、第1委員会室
において開議、午後3時58分
散会

委員長 作田 政次(自民)

① 開発調整部長から、第2回定例会提出予定
案件について説明。

② 委員長から、さきに実施した道外の開発事
情調査の概要について報告書により報告、異
議なく了承。

③ 開発調整部長から、いすゞ自動車株式会

社の苫東進出について報告の後、

本間喜代人委員(共産)から、用地取得に
かかる事業計画書、契約書の内容等について
質疑、意見及び要望があり、開発調整部長か
ら答弁。

④ 開発調整部長から、苫東コールセンター設
立計画について報告の後、

本間喜代人委員(共産)から、中防波堤の
建設着手について

質疑及び要望があり、開発調整部長から答弁。

⑤ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項に
ついて、理事会決定のとおりとすることをは
かり、異議なく決定。

⑥ 本間喜代人委員(共産)から、北海道博覧
会に関し、道費補助及び前売券の取扱いに対
する経緯と今後の方針について

質疑及び意見があり、開発調整部長から答弁。

石炭対策特別委員会

○4月13日(月) 午後2時49分、第2委員会室
において開議、午後3時25分
散会

委員長 工藤万砂美(自民)

① 商工観光部長から、北炭の再建整備計画の
概要について報告。

② 藤井虎雄委員(社会)から、(1)北電に対す
る納炭の流通機構の改善、(2)国鉄地方交通線
廃止問題に関し、石炭輸送路線の確保の考
え、(3)苫東コールセンター構想と現状及び事
業主体についての考え、国鉄口高線からの引
込線の設置について

質疑、意見及び要望があり、商工観光部長か
ら答弁。

③ 委員長から、新石炭政策の確立に関する中
央折衝の実施についてはかり、異議なく決定。
要望案文、派遣委員等については、委員長に
一任することとした。

本日聴取した陳情

北炭夕張新炭鉱の再建支援等について

夕張市長

○6月24日(水) 午後1時5分、第11委員会室

において開議、午後1時30分
散会

委員長 工藤万砂美(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した第7次石炭政策の確立に関する中央折衝の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、適正炭価に関する要望意見案について、配付の案文に基準単価に関する部分を追加し、発議する旨述べた後、
藤井虎雄委員(社会)から、案文における電力向炭価引上額の訂正方について意見があり、委員長から、案文について一部訂正及び挿入の上、発議することをはかり、異議なく決定。
- ③ 委員長から、要望意見案に関する中央折衝の実施についてははかり、異議なく決定。派遣委員等については、委員長に一任することとした。
- ④ 商工観光部長から、新石炭政策に関する諸情勢並びに苫東 コール センター について報告。
- ⑤ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりすることをはかり、異議なく決定。
- ⑥ 藤井虎雄委員(社会)から、北電の石炭等発電用燃料の価格に関し、知事等理事者間の認識及び意見統一について意見及び要望があった。
- ⑦ 山家勇委員(社会)から、産炭法6条指定に係る産炭地域問題に関し、道の取り組み方と今後の対応策、陳情、要請に対する対応、新石炭政策と産炭地域振興の関連強化策等について意見及び要望があった。
- ⑧ 湯田倉治委員(道政)から、西ドイツ・ザール地方の石炭火力発電所に関する資料要求があった。

北方領土対策特別委員会

○6月25日(木) 午後3時23分、第3委員会室
において開議、午後3時55分
散会
委員長 田刈子政太郎(自民)

- ① 委員長から、さきに実施した北方領土早期復帰に関する他府県議会への決議要請の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ② 領対本部長から、昭和56年度北方領土隣接地域振興対策事業等に関する報告の後、
小田原要四蔵委員(社会)から、北方領土3島6村の根室管内1市4町への編入についての特例法案をめぐる動きと道の対応、今後における慎重な対処方について
質疑、意見及び要望があり、領対本部長から答弁。
- ③ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりすることをはかり、異議なく決定。

公害対策特別委員会

- 4月7日(火) 午後3時53分、第2委員会室
において開議、午後5時5分
散会
委員長 和田 勝之(自民)
- ① 生活環境部長から、室蘭地域公害防止計画及び札幌地域公害防止計画について説明。
 - ② 生活環境部長から、国道バイパス小樽中央線(長橋地区)にかかる環境影響評価について説明。
 - ③ 生活環境部長から、現苫地域の王子製紙等に係る公害防止協定について説明の後、
関根建二委員(社会)から、54年の王子製紙の大気汚染物質の排出量算出根拠、ボイラー重油から石炭への燃料の転換についての考え、硫黄酸化物排出量の協定順守の見通し、排出物質の企業別規制についての見解
長岡寅雄委員(社会)から、公害監視体制に関し、監視員の増員、保健所との連携等について
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。
 - ④ 委員長から、道外における公害状況の調査の実施についてははかり、異議なく決定。実施時期等については、委員長に一任することとした。

○6月10日(水) 午後1時35分、第2委員会室
において開議、午後2時22分
散会

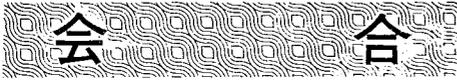
委員長 和田 勝之(自民)

- ① 生活環境部長から、環境影響評価条例の施行状況について説明。
- ② 生活環境部長から、函館市銭亀沢地域における土壌汚染対策計画について説明。
- ③ 関根建二委員(社会)から、(1)環境行政に関し、環境週間に対する見解、環境庁廃止論に対する見解、(2)釧路湿原に関し、ラムサール条約に基づく登録の理由、開発事業の湿原に及ぼす影響、湿原周辺の開発事業のあり方と保全対策について
質疑、意見及び要望があり、生活環境部長から答弁。

○6月25日(木) 午後3時13分、第2委員会室
において開議、午後3時28分
散会

委員長 和田 勝之(自民)

- ① 生活環境部長から、道公害防止条例に基づく公害防止推進計画について説明。
- ② 委員長から、さきを実施した道外調査の概要について報告書により報告、異議なく了承。
- ③ 生活環境部長から、留萌市の水産加工場にかかる水質汚濁防止法に基づく改善命令について報告。
- ④ 委員長から、委員の交代に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることをほかり、異議なく決定。



全国都道府県議会議長会

○4月9日(木) 全議会議室において役員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつの後、協議に入り、全議事務局長から、昭和56年度本会行事計画について説明があり、原案のとおり決定。次に、欠員中の副会長の補欠選任について、5月29日に臨時総会を開催し、欠員を生じたブロックから推せんされた者を総会議長の指名により選任することとした。次に、本会事務局長について、胡子全議事務局長の再任を決定。次に、全議事務局長から、本会会則改正(総会の議長及び副議長の選任方法の改正、本会事務局長の名称を「事務総長」に変更)について説明の後、協議の結果、臨時総会に改正案を提出することに決定。次に、全議事務局長から、自治省が今国会提出予定の地方自治法の一部を改正する法律案をめぐる動向及び行政改革推進特別委員会の設置に関する報告があって、閉会した。

○5月29日(金) 全議会議室において役員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつの後、協議に入り、臨時総会の日程及び議事運営(副会長の補欠選任及び本会会則の一部改正など)について、全議事務局長説明のとおり決定の後、全議事務局長から、行政改革の動向等に関する報告があって、閉会した。

○5月29日(金) 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長(東京都議長)のあいさつに引き続き内閣総理大臣並びに自治大臣のあいさつが代読された後、議長に会長を選任し、協議に入り、欠員中の副会長に議長指名のとおり、滋賀県、山田県及び徳島県議長をそれぞれ選任。次に、本会会則の一部改正について、異議なく原案のとおり改正することに決定して、閉会した。

都道府県議会議員共済会

○5月29日(金) 全議会議室において理事会を開催。会長(東京都議長)のあいさつの後、協議に入り、代議員会の運営方法及び昭和55年度決算報告について了承の後、全議事務局長から、本会定款の一部変更(全議事務局長の名称変更)について説明があり、了承し、閉会した。

○5月29日(金) 都道府県会館別館において代議員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつの後、議事に入り、まず、会期を本日限りとし、会議録の署名者を決定の後、昭和55年度本会決算について、内容説明の後、監事から監査結果報告があり、異議なく認定。次に、本会定款の一部変更について、異議なく原案のとおり決定して、閉会した。

10都道府県議会議長会(第123回)

○5月13日(水) 兵庫県神戸市において開催。地元兵庫県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選任し、協議に入り、まず、北海道議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定した。次に、東京都議長から、昭和55年度本会経常決算報告を行い、これを了承。次に、全議事務局長から、第94回通常国会提出法律案件名及び審議状況等について説明の後、次回開催地を福岡県に決定して、閉会した。

- 1 社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することについて
- 2 大型店の新規出店と営業活動の規制強化について
- 3 農地転用の適正化について
- 4 高等学校建設に対する国庫補助制度の整備・拡充について
- 5 校内暴力の防止について
- 6 保育対策の充実強化について
- 7 青少年の非行化防止について

北海道・東北6県議会議長会（第60回）

- 6月4日（木） 福島県福島市において開催。
地元福島県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、議事に入り、宮城県議長から前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について順次協議、決定した。次に、次回開催県を岩手県に決定の後、全議事務局次長から、最近の中央情勢等について説明があつて、閉会した。
- 1 地方議会議員及び首長選挙の公営拡充について（継続審議）
 - 2 社会保険に関する事務とこれに従事する職員の身分を地方自治体に移管することについて
 - 3 意見書処理状況の公表について
 - 4 行政改革の推進について
 - 5 地方財政対策の強化について
 - 6 高等教育機関等の拡充整備について
 - 7 休廃止鉱山の鉱害防止対策の強化について
 - 8 地熱開発の促進について
 - 9 電源地域の恒久的な振興を図るための総合的施策の確立について
 - 10 東北新幹線・北海道新幹線の建設促進及び鉄道輸送網の整備充実について
 - 11 国土開発幹線自動車道の建設促進について
 - 12 空港の整備促進について
 - 13 公共投資の地域配分について
 - 14 豪雪地帯対策の拡充強化について
 - 15 外海に面して建設される第一線防波堤整備に係る国庫負担率の引上げについて
 - 16 救難飛行艇（US-1）の配備について
 - 17 水産業の振興について
 - 18 「80年代農政の基本方向」に関する諸施策の推進並びに水田利用再編第2期対策の拡充強化について
 - 19 大規模林業圏の開発事業の促進について

4 月 の メ モ

- 1日 ○国土庁が地価公示価格を発表。56年の平均上昇率は、住宅地で11.4%、本道は全国12ブロック中、地価、上昇率とも最低ランク。なお、全道平均の上昇率は、7.1%（前年6.6%）で騰勢は強まる。
- 2日 ○参院本会議で56年度政府予算案が可決。
- 5日 ○千葉県知事選で沼田武前副知事が当選。投票率は25.38%。
- 7日 ○政府・自民党行政改革推進本部が発足。
- 10日 ○鈴木首相は閣議で、行政改革に関し57年度予算編成では、各省庁が自主的に歳出削減策を検討するよう指示。
- 12日 ○原子力船「むつ」の母港問題について、中川科学技術庁長官が青森県知事、むつ市長、県漁連会長と会談。①政府は大湊港再母港化を断念、新たに青森県内の外洋に新母港を建設する②新母港完成までの間、大湊港を仮母港とする旨新提案。
○米国のスペースシャトル「コロンビア」がケネディ宇宙センターから打ち上げられ、耐熱タイルの一部脱落のトラブルに見舞われながらも、14日エドワーズ空軍基地に無事帰還。
- 17日 ○ポーランドで「農民連帯」の合法化を認める協定書に調印。
- 18日 ○日本原子力発電会社敦賀発電所で、一般排出路から高レベルの放射性物質が検出され、放射性廃液の流出事故と判明。
（20日）
○6日から開かれていた日ソサケ・マス漁業交渉が妥結。日本側漁獲量は4年連続同量の42,500トン、漁業協力費は昨年より2億5千万円増の40億円。
- 20日 ○政府・自民党行政改革推進本部が第1回総会を開き、第2次臨時行政調査会の中間答申を57年度予算に反映させるため予算概算要求のシーリングを6月中旬に決定する方針を確認。
○第85回ボストン・マラソンで瀬古利彦選手が、2時間9分26秒の大会新記録で優勝。
- 24日 ○教科書協会が中学校社会科「公民的分野」の教科書を59年度から全面改訂を含む大幅改訂するとの方針を決めた。
○北電の共和・泊原発立地に伴う周辺海域漁業への影響について調査していた道水産部は「漁業生産の損失量は最大でも2千分の1以下」とする最終報告をまとめ、地元の関係漁協を対象に報告会を開いた。
- 25日 ○堂垣内知事は、4選には出馬しない意向を正式に表明。
- 27日 ○第2次臨時行政調査会は、中間答申を7月10日に提出することを決定。

5 月 の メ モ

- 1日 ○日本車の対米輸出問題で田中通産相とブロック米通商代表とが協議。1931年の輸出数量を168万台、自主規制期間を2年間とし、さらに1年間の監視期間を設けることに合意。
- 4日 ○鈴木首相、伊東外相ら一行は米国、カナダ訪問に出発。
- 8日 ○鈴木首相一行はレーガン大統領らとの首脳会議を終え、共同声明を発表。日米の「同盟」関係と「連帯」を強調。
○伊達市の道立精薄者施設「太陽の園」で女子臨時生活指導員が絞殺され、捜査の結果、男子園生を殺人容疑で逮捕。(9日)
- 9日 ○厚生省は薬価基準を6月1日から18.6%下げる旨告示。
○道開発庁は、根室市などを対象とした56年の「北方領土隣接地域安定対策」のカナメとなる公共事業費の配分額をまとめ「北方領土隣接地域安定振興等関係省庁連絡会議」に報告、了承された。総額は136億861万6千円。
- 10日 ○鈴木首相が米国、カナダ訪問から帰国。日米共同声明における「同盟関係」の解釈をめぐる政府内不統一が表面化、伊東外相が辞職、後任に園田厚相を、後任の厚相には村山達夫氏を起用。(～16日)
○ポーランドの自主管理労組「連帯」のワレサ委員長ら代表団が来日、関係者と会談(～16日)。
○フランス大統領選挙の決選投票の結果、社会党のフランソワ・ミッテラン前第1書記がジスカールデスタン現大統領を破って、23年ぶりの左翼政権が誕生。
- 12日 ○海上自衛隊と米海軍第7艦隊の対潜水艦共同訓練が秋田沖の日本海公海で始まる。
- 15日 ○積丹半島と津軽海峡沖の日本海で集団操業中のマスはえなわ漁船の漁網が切断される事故発生。
- 17日 ○中国・四川省のミニヤコンカ峰で北海道山岳連盟日中友好登山隊員8人が死亡。わが国の海外登山遠征史上、最大の惨事。
- ライシャワー元駐日米大使は、核を積載した米艦船が日本に寄港したことを裏付ける発言。
- 21日 ○フランスのミッテラン新大統領は、社会党のピエール・モーロワ元全国書記を首相に任命、翌日、新閣僚を任命し、第5共和制で初めての左翼内閣を発足させた。
- 24日 ○原子力船「むつ」の新母港を青森県むつ市関根浜とするなど政府と地元が正式合意。
- 25日 ○OPECがジュネーブで総会を開き、石油価格の年内現状凍結と、サウジアラビアなどを除く大多数の国による10%以上の生産削減の実施で合意。(～26日)
- 29日 ○異常低気温のため、宗谷管内で、放牧乳牛58頭が衰弱死。(～30日)
- 30日 ○いすゞ自動車の苫東工業基地への進出が正式に決定。

6 月 の メ モ

- 1日 ○道教委は、来春から実施する公立高校の入学試験制度の改革案を決め発表。
- 2日 ○フランス国防省が南太平洋での核実験の再開を発表。
- 5日 ○57年度予算の各省庁概算要求枠について大蔵省方針を閣議了承。一般歳出の伸び1.9%に。
- 6日 ○第94通常国会閉会。公務員2法案については、国家公務員の定年法だけが成立、地方公務員定年制導入と公務員退職手当引き下げ及び仲裁裁定は継続審議に。
- 9日 ○鈴木首相が欧州歴訪のため羽田を出発。21日帰国。
- 10日 ○国鉄は、57年度末までに廃止対象となる第1次特定地方交通線40線を決め、塩川運輸相に承認を申請した。うち道内関係は岩内線など8線、延べ214.4km。
- 11日 ○厚生省が55年の人口動態の概要を発表。出生率は人口千人当たり13.6人と史上最低。ガンによる死亡高まる。
- 17日 ○北電と泊村漁協原発委員会の原発建設をめぐる漁業補償交渉が補償総額30億5千万円で話し合いがつき仮調印。(～18日)
- 21日 ○フランスの総選挙第2回投票の結果、社会党が単独過半数を獲得。第2次モーロア内閣が発足、共産党から4人が入閣。(～23日)
- イラン国会は、バニサドル大統領弾劾動議を可決。ホメイニ師が同大統領を解任。ラジャイ首相ら3人による暫定評議会が大統領職務を代行。(～22日)
- 22日 ○第2次臨時行政調査会は第1、第2両特別部会、第1専門部会からの部会報告を受ける。
- 自然環境保全審議会自然公園部会は、環境庁に「日高山脈えりも国定公園」(仮称)の指定を答申。
- 26日 ○第2回定例道議会開会
- 北電と泊村の漁協原発交渉委員会の原発建設をめぐる漁業補償交渉が補償総額7億8千万円で話し合いがつき仮調印。
- 27日 ○政府は56年産国内麦の政府買い入れ価格(生産者麦価)を、米価審議会の答申(26日)通り、平均3.2%引き上げることを決定。
- 29日 ○大村防衛庁長官とワインバーガー米国防長官との第6回日米防衛首脳定期協議がワシントンで行われ、米側は日本の防衛計画大綱の見直しを迫ったのに対し日本側は「大綱水準の達成が先決」と述べ、日米の主張は平行線のまま終わった。
- 中国共産党は第11期中央委員会第6回全体会議を開き「歴史決議」を採択するとともに胡耀邦総書記を主席に、趙紫陽首相を副主席に選出。華国鋒主席は副主席に降格。
- 30日 ○政府は薬物乱用対策推進本部会議で保安処分制度の新設を推進する方針を確認。

